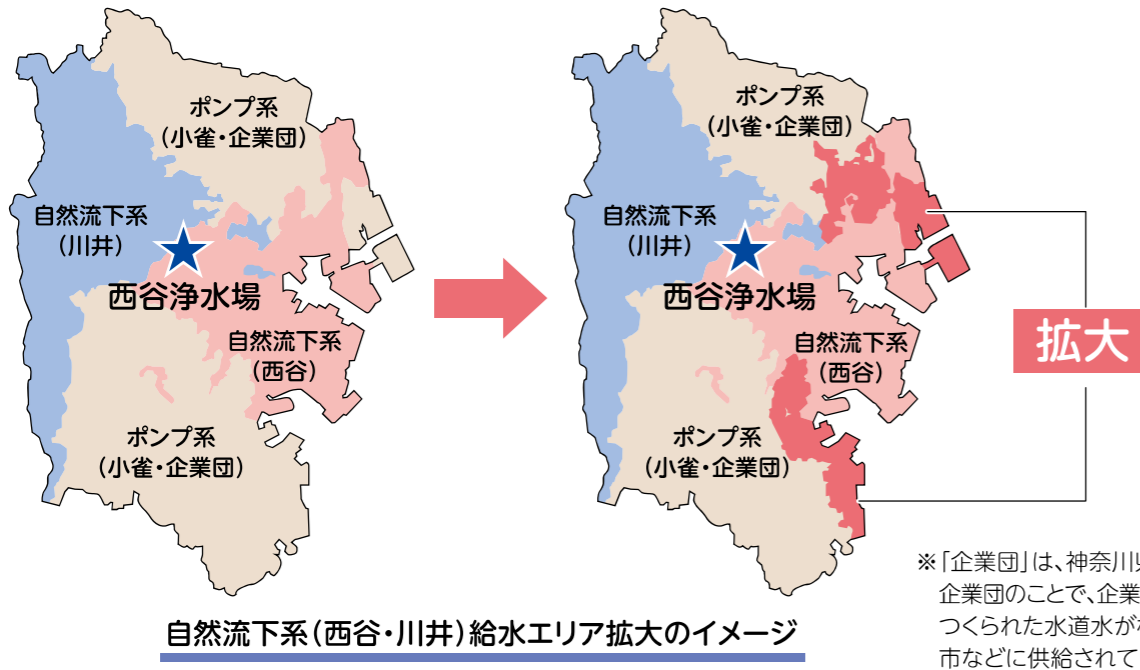


自然流下系浄水場からの給水エリアの拡大

本市には、水源から浄水場まで自然流下で水を送ることができる自然流下系浄水場(西谷・川井)と、ポンプを使用して水を送るポンプ系浄水場(小雀・企業団※)があります。西谷浄水場の再整備によって処理能力の増強が完了すると、災害に強く、エネルギー効率に優れ、環境にやさしい**自然流下系浄水場(西谷・川井)の給水エリアが、39%から約50%に拡大します**。これにより、ポンプの電力使用量を削減し、CO₂排出量やコスト削減を図ることができます。

処理能力の増強前 **39%**

処理能力の増強後 **約50%**



西谷浄水場の再整備 事業スケジュール

	令和3年度	令和4～10年度	令和11年度～
浄水処理施設 (DB方式)		設計・工事 施設の耐震化 10年度完了見込	設計・工事 粒状活性炭処理の導入 14年度完了見込
排水処理施設 (DBO方式)	設計・工事 9年度完了見込		運転・維持管理 28年度完了(25年間)
相模湖系導水路 (DB方式)	設計・工事 9年度完了見込		
処理能力	処理能力 35.6万m ³ /日		処理能力 39.4万m ³ /日

お問合せ先 横浜市水道局 施設整備課再整備推進係

〒240-0046 横浜市保土ヶ谷区仏向西4番1号 西谷分庁舎3階 ☎045-337-0870(代) FAX045-337-0861

令和6年4月発行

「暮らしとまちの未来を支える横浜の水」の実現に向けて

西谷浄水場の再整備

西谷浄水場は、「安全で良質な水」、「災害に強い水道」、「環境にやさしい水道」をめざし、令和3年度から再整備を進めています。



事業目的

1 施設の耐震化

ろ過池と排水池を耐震化することで、大規模地震などにおいても浄水処理を継続できる災害に強い水道になります。

2 粒状活性炭処理の導入

藻類の繁殖によるかび臭など※を確実に除去するため、活性炭に水を通し、常時処理できる施設を導入します。
※水温が上昇してくると、水源で藻類等が繁殖し、水にかびのようなニオイをつけることがあります。

3 処理能力の増強

処理能力を現在の35.6万m³/日から39.4万m³/日に増強することで、自然流下系浄水場の給水エリアを拡大します。

整備手法

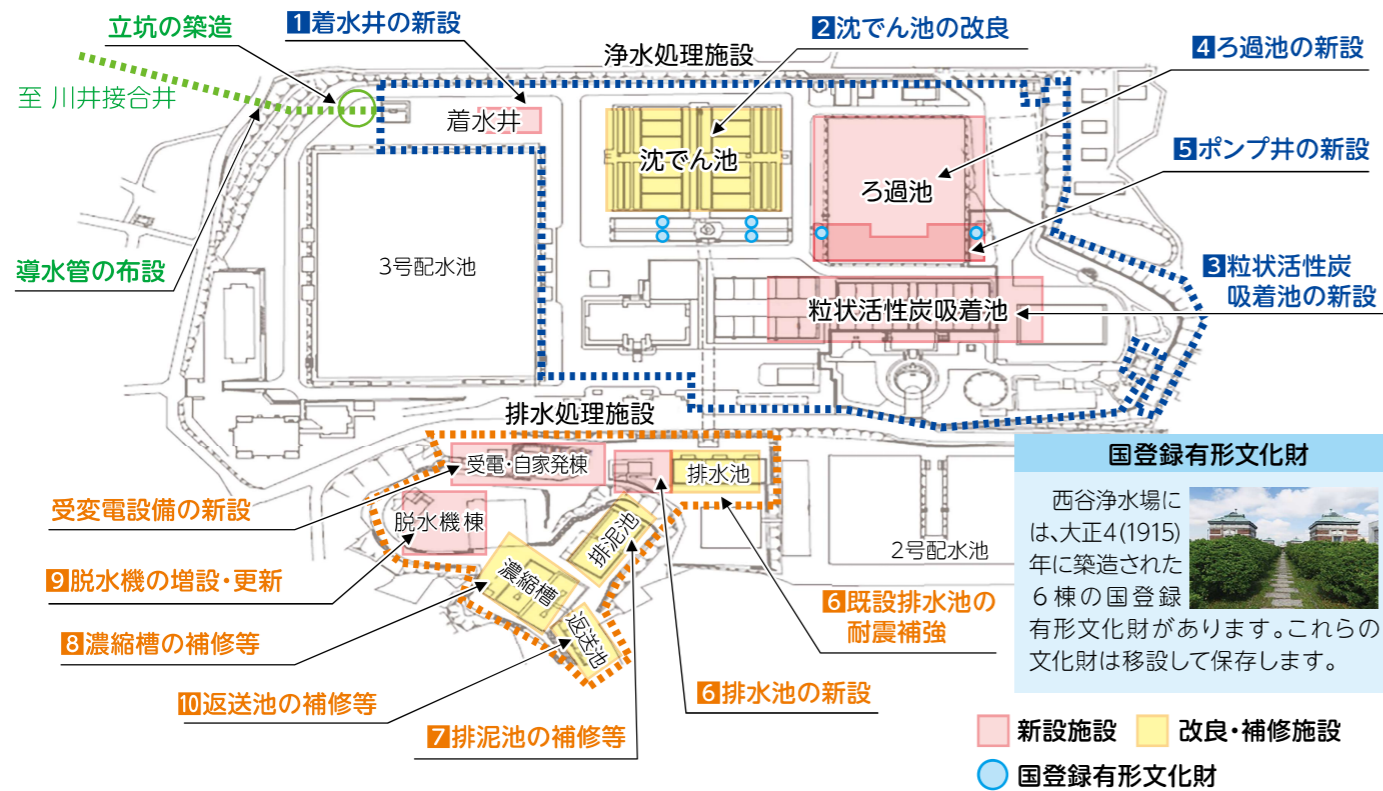
西谷浄水場の再整備は、施工難易度が高いなどの事業の特殊性から、民間の技術やノウハウを活用でき、**工程の短縮**や**コストの縮減**も期待できる**DB・DBO方式**を採用しています。

DB方式 : Design Build の略で、民間事業者が対象施設の設計(Design)及び工事(Build)を一括して行う方式です。施設の運転・維持管理は水道局が行います。

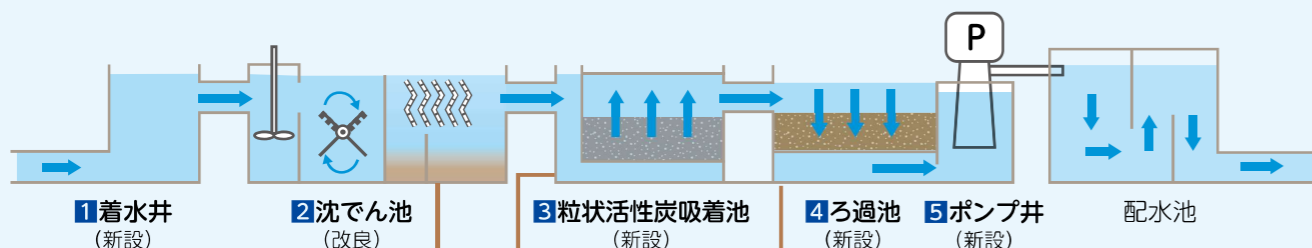
DBO方式: Design Build Operateの略で、民間事業者が対象施設の設計(Design)及び工事(Build)並びに運営(Operate)を一括して行う方式です。

西谷浄水場再整備事業

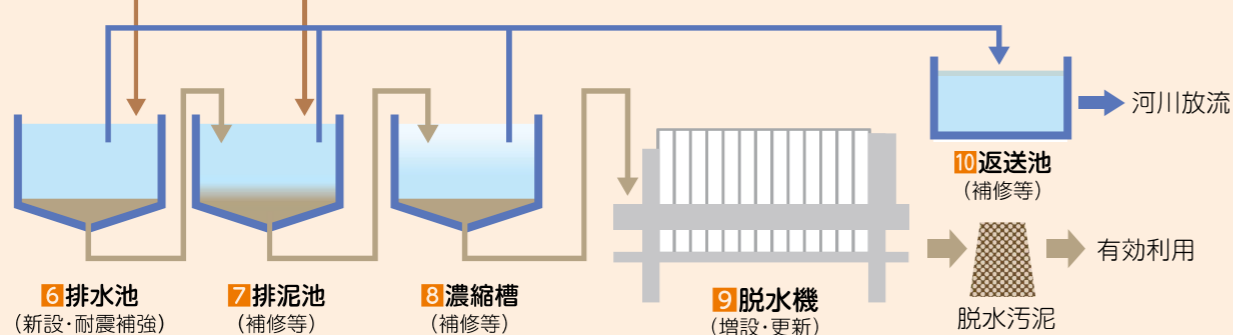
「1 耐震性が不足しているろ過池と排水池の整備(耐震化)」、「2 水源水質の悪化に対応できる粒状活性炭処理の導入」、「3 相模湖系統の水利権水量の全量処理を可能とするための処理能力増強」を目的に、浄水処理施設と排水処理施設を再整備します。



① 浄水処理施設

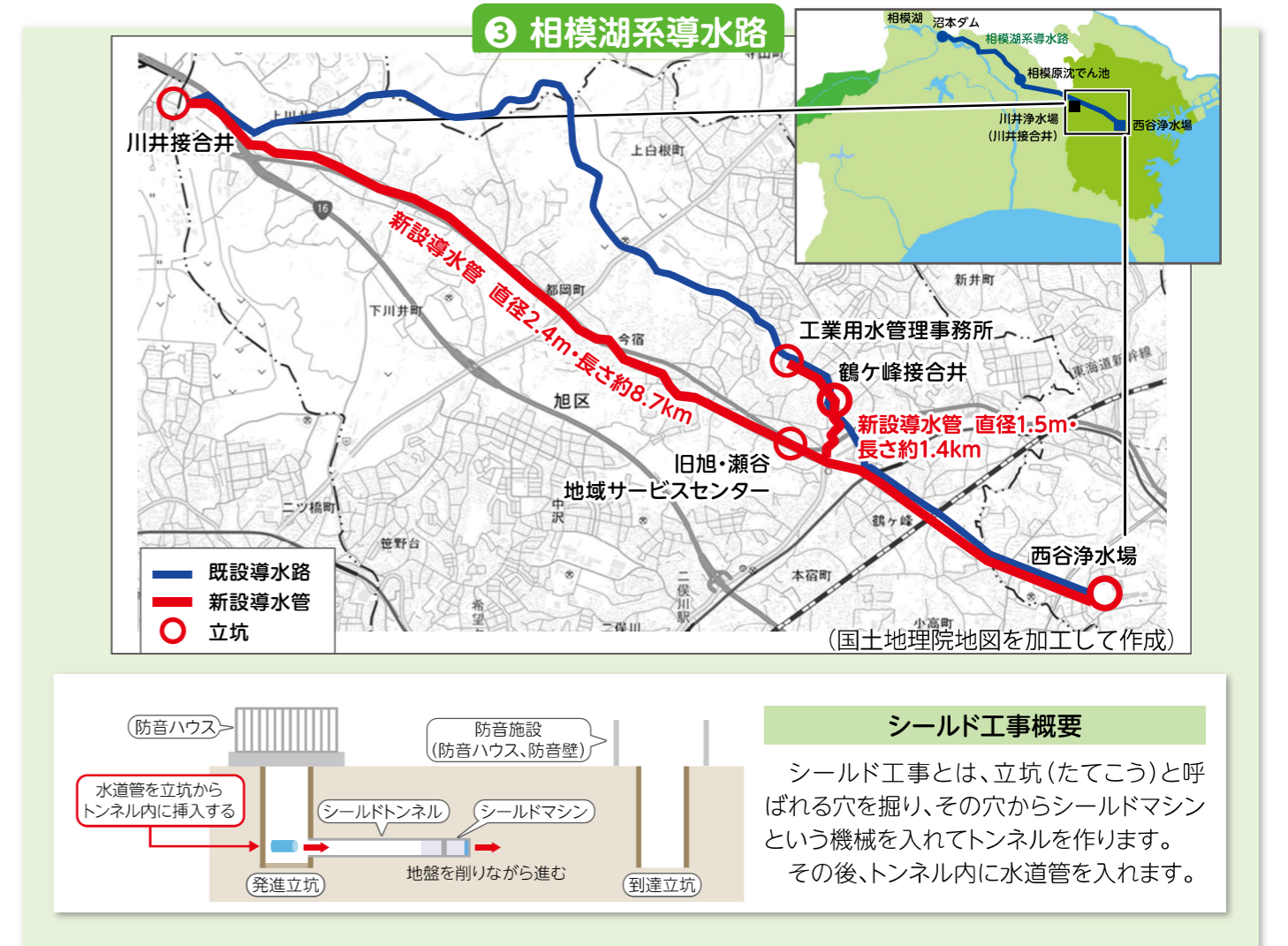


② 排水処理施設



相模湖系導水路(川井接合井から西谷浄水場)改良事業

西谷浄水場再整備事業に合わせて、導水能力の増強と耐震化を図るため、新たなルートにシールド工事で導水管を整備します。



各整備工事の概要

事業名	整備施設	概要	契約期間	事業者
西谷浄水場再整備事業	①浄水処理施設(DB方式)	設計・施工	令和4年4月～23年3月	大成・KingIツギアツク・ツフォアテクノロジー・NJS 異業種建設共同企業体
	②排水処理施設(DBO方式)	設計・施工	令和3年6月～11年3月	月島・日水コン・日立・馬淵・大日本・昱建設共同企業体
		運転・維持管理	令和3年7月～29年3月	横浜西谷ウォーターサービス株式会社
相模湖系導水路改良事業	③相模湖系導水路(DB方式)	設計・施工	令和3年4月～15年3月	清水・鴻池・中鉢建設共同企業体

※西谷浄水場の再整備では、難易度の高い各整備を確実にを行うため、工事の管理支援を専門業者に委託するコンストラクション・マネジメントを導入しています。